FUKUSHIMA YUME-TSUSHIN 2025 JULY

福島市
61
2025年7月

市民フォト

ふくしま夢つうしん

CONTENTS

特集
果物狩り・ふくしまのモモ …2
ふくしまの魅力人
福島市西地区地域おこし協力隊
神長倉 巧さん …6
インフォメーション
福島駅前軽トラ市
元気ふくしま・ふるさと寄附金 …8

特集 果物狩り・ふくしまのモモ

果物シーズン到来!!
甘い果汁がほとばしる果物狩り！

お待たせしました！本格的な果物シーズンの到来です。福島盆地は、真夏の日差しと朝晩の寒暖差がおいしい果実を実らせ、果物の甘さを引き出します。こうした気象や土壌などが果物栽培に適していることから、モモやナシ、ブドウなど暖地系の果物と、リンゴやサクランボなど寒地系の果物の両方を楽しめる全国でも珍しい地域です。「フルーツライン」や「ピーチライン」などの愛称で知られるフルーツロードには、果物畑や直売所、果物狩りができる観光果樹園が続き、もぎたての果物を求めるお客様でにぎわいます。

今号では、時期ごとに多様な品種を味わえる果物狩りと、昨年の全国収穫量の27%を誇る福島のモモ情報をたっぷりお届けします！ぜひ〝フルーツ王国ふくしま〟で、おいしい夏を満喫してください。

その場で食べたい！ニーズに応えて増えた観光果樹園

まるえ観光果樹園の目の前、吾妻連峰の麓を走る県道5号は、飯坂温泉から1959年に開通した山岳道路「磐梯吾妻スカイライン」に向かう通り道です。昭和のマイカーブームと相まって観光客がたくさん通るようになったことから、道路沿いで小さな直売所を始めると大変喜ばれました。やがて果樹農家仲間が集まり、道路に愛称をつけようということに。スカイラインにあやかって、こっちは「フルーツライン」がいいと市に要望して、1973年に愛称が決まりました。

福島の果物がおいしかったんだと思います。「畑で取って、その場で食べて帰りたい」という声に応えるように、観光果樹園が増えました。うちは当初、モモとナシだけでしたが、「サクランボやブドウ、リンゴも食べたい」というご要望を機に今のような形になりました。シーズン中、途切れることがないように、いずれの果物も収穫時期が異なる複数の品種を植えています。中でもモモは、7月から10月近くまで収穫できる12品種を育てています。

サクランボからリンゴまで幅広い品種が楽しめる

うちの果樹園で人気があるのは、サクランボであれば、やはり「佐藤錦」です。栽培面積が一番広いモモは、品種によって食べ頃の硬さが違います。モモの主力品種は、大玉で糖度が高く、果汁たっぷりの「あかつき」です。果物って花が咲く時期はほぼ一緒なんですが、不思議なことに実になるまでの日数は品種ごとに違うんです。面白いでしょう。好みもあると思いますが、私個人はゆっくり、じっくり実になっていく「川中島白桃」や「ゆうぞら」「さくら白桃」などの晩生品種の硬いモモが好きです。

ナシは、甘みが強くてジューシーな「幸水」、続いて「豊水」が、この辺りの主力品種です。近年は、9月下旬に収穫期を迎える「あきづき」が人気です。大きくて、甘くて、食べた方は皆さん「これ、おいしい」と言います。

ブドウは、福島県が開発した品種で収穫時期の早い「あづましずく」がおすすめです。9月下旬になると、糖度が高くて皮ごと食べられる「シャインマスカット」も食べ頃を迎えます。うちのブドウは、房が結構な大きさになるので1人では食べきれないほどです。リンゴは、やはり袋をかけずに太陽の光をたっぷり浴びた、蜜入り「サンふじ」が人気ですね。

もぎたてを皮ごとガブリ！果物狩りの醍醐味

おいしい食べ方はいろいろありますが、産地に来たらもぎたてを「ガブリ！」が一番です。モモ狩りのお客様に、「どうしてこんなに硬いんですか？」と聞かれることがあります。その時は、「食べてみてください」と答えます。福島は、産地ならではの新鮮で硬い桃がおいしいので。うちでは、その場で洗って皮ごと食べられるように、水を張ったバケツを用意しています。

どの果物ももぎたては違います。パリッとして、みずみずしくて、ジューシー。それぞれに特徴がありますので、いろいろな種類を味わってほしいと思います。収穫のタイミングもあるので、お目当ての果物を食べたい方は、出かける前に電話で収穫時期を問い合わせてください。

順調に生育中。高速道路を使って日帰りで満喫！

お客様は、県内、近県、関東圏から訪れる方が多いです。東北自動車道福島飯坂ICに加えて、東北中央自動車道福島大笹生ICもできたので便利になりました。皆さん日帰りで楽しんでいかれます。県内の方でしたらサクランボ、モモ、ブドウと1年に3度訪れる方もいらっしゃいます。

果物栽培は、ほぼ手仕事です。剪定、摘蕾、摘花、交配、摘果、収穫…ブドウの場合は袋かけもあります。霜や霰、雹、鳥獣害、台風など苦労も多いですが、今年はサクランボからリンゴまで順調に育っています。ぜひ、楽しみにいらしてください。

サクランボを皮切りにモモやナシ、ブドウ、リンゴと四季折々の果物が楽しめる福島市を訪ねた際、ぜひとも体験してほしいのが果物狩りです。もぎたてをその場でガブリ！ほとばしる果汁と香りは、果物狩りならではの楽しみです。人気の品種や現在の生育状況などを、まるえ観光果樹園の服部さんに伺いました。

まるえ観光果樹園　園主
服部　栄さん

1950年生まれ。祖父が始めた水稲と果樹園を1972年に受け継ぐ。父の協力を得ながら直売所や果物の収穫体験ができる観光農園を始める。

まるえ観光果樹園のくだもの狩りカレンダー

擬人化！ふくしま桃図鑑

特集
果物狩り・ふくしまのモモ

福島市のモモの生産者は、我が子のように丁寧にモモを育てています。しかし、品種によって味や硬さなど特徴はさまざまなので、お客様のイメージと異なると満足いただけず、悲しい思いをすることもあります。

そこで、モモの特徴を分かりやすく伝えるため、モモの品種を生産者視点で擬人化した「ももまみれ図鑑」が、福島市観光コンベンション協会で作成されました。今年は、生産者いち推しのモモ８品種とリンゴ4品種が追加された保存版が配布されますのでお楽しみに！

図鑑を参考にいろいろな品種を食べ比べて、「推しモモ」を見つけてみてくださいね。

あかつき Akatsuki

絶対的な不動のセンター！圧倒的なカリスマ性！

収穫時期
7月下旬～8月上旬頃

親
白桃×白鳳交雑実生

レア度

生産者推しポイント
- 甘味と酸味のバランスが最高！！
- 作りやすく味も良い優等生！
- 色づきも良く味もしっかりのる

育てにくいポイント
- 雨が多いと柔らかくなりやすく非常にデリケート
- 人気品種だけに気を遣う

はつひめ Hatsuhime

初夏の到来を福島に告げる！元気いっぱいなおてんば姫！

収穫時期
7月初旬頃

親
あかつき×はつおとめ交雑実生

レア度

生産者推しポイント
- 早生桃ではダントツで良い桃！
- 香りも良く早生の中では大玉

育てにくいポイント
- 果肉が柔らかく日持ちしない
- 熟しだすとすぐに収穫しないといけない
- 生理落果がおこる
- 発育が良すぎて剪定が大事

まどか Madoka

美しい紅色で惑わす！クセありな魔性の女！

収穫時期
8月上・中旬頃

親
大玉あかつきの自然交雑実生

レア度

生産者推しポイント
- かたいけれど甘味が抜群！
- 色づきがよく袋をかける必要がない
- 果肉がピンクになりカットしても可愛い
- 天然ピンクでジャムをつくる方にも人気

育てにくいポイント
- あかつきよりも硬いとクレームが多い
- 着色先行で大きく育ちすぎ収穫判断が難しい

暁星 Gyousei

妹のあかつきのために人生を捧げる！妹にとことん甘い姉！

収穫時期
7月中旬頃

親
あかつきの枝変わり

レア度

生産者推しポイント
- 甘味が強い
- 味が凝縮されている
- 風味が良い

育てにくいポイント
- 小ぶり
- 甘味が強く酸味がない
- あかつきが忙しくなる時期に被り生産量減

ゆうぞら Yuzora

上品でしっとりとした美しさ！儚げな雰囲気にコアなファン多し！

収穫時期
8月下旬～9月上旬頃

親
白桃×あかつき交雑実生

レア度

生産者推しポイント
- 果肉がなめらかで上品な甘さが人気
- コアなファンが付いている

育てにくいポイント
- 生産者でも上級者向け
- 7～8年育てないと安定しない
- 核割れが多く柔らかくなりやすい
- 生理落果でロスが多い
- 生産量が少ない

川中島白桃 Kawanakajima Hakuto

「だもの戦国時代を生き抜く！強敵に囲まれハードに生きる！

収穫時期
8月中旬頃

親
白桃からの偶発実生

レア度

生産者推しポイント
- 硬めだが全国認知度が高くクレームが少ない
- 塩をかけると美味しいというファンもいる
- 売り場に置いても棚もち（日持ち）が良い
- 発送しても安定している
- 糖度もまどかに引けを取らない

育てにくいポイント
- 花粉がないため受粉が必要
- 二重袋がけが必要（途中1枚徐袋）
- 同時期にライバル（梨・ぶどう）が多い

さくら白桃 Sakura Hakuto

天候に運命を左右される！桃シーズン最後の女帝！

収穫時期
9月中旬頃

親
川中島白桃×千曲交雑実生

レア度

生産者推しポイント
- 硬いのに糖度が高い！
- 桃が恋しくなった頃に再び食べられる
- 大玉、日持ちもする
- 慌てて収穫しなくて良い
- 花粉があるため交配不要

育てにくいポイント
- 袋掛けが必要
- 台風が来ると全てが水の泡となる
- 収穫後に1～2日予冷追熟して発送

黄金桃 Ogonto

川中島白桃と親子！まるで南国の美姫！

収穫時期
8月中・下旬頃

親
川中島白桃からの偶発実生

レア度

生産者推しポイント
- 追熟でトロっとマンゴーのような食感
- 実が美しい黄色で人気
- 缶詰ではなく生食のため感激される
- 花粉があり受粉不要

育てにくいポイント
- 袋掛けが必要
- 収穫直前に袋を外すと美味しさが増すが遮光袋の中が見えずタイミングが難しい

Fukushima Peach Holiday

モモにまみれる365日を目指し、今年からは通年開催！

7月15日(火)～2026年6月30日(火)

福島市のどこに行ってもモモを味わえる、モモづくしのキャンペーン！

モモを使ったスイーツや食事、宿泊などを参加メンバー店で体験して、福島市の特産品を当てよう！

ももまみれ図鑑やピーチホリデイについて詳しくはこちら▼

ふくしまの魅力人

みりょくびと

Takumi Kanakura

東北自動車道福島西ICから車で約5分。一級河川「荒川」が流れる福島市西地区は、果樹園が連なるフルーツラインや水田、野菜畑などが広がる地域です。福島県浪江町で生まれた神長倉巧さんは、8歳から約13年間をこの地で過ごしました。社会人となり宮城県仙台市の社員寮で暮らし始めた際、思い出されるのは第二の故郷ともいえる同地区の風景と、幼かった自分を温かく受け入れてくれた地元の皆さんだったそうです。いつか地域を盛り上げる活動をしたいと思っていた夢を叶え、昨年末から精力的に取り組んでいる神長倉さんをご紹介します。

人、コト、モノ、
風景をつないで
福島市西地区の
にぎわいを創出！

福島市西地区地域おこし協力隊

神長倉（かなくら） 巧（たくみ）さん

2003年、浪江町に生まれる。小学校1年生の時に東日本大震災と原発事故に遭い、避難を余儀なくされる。両親、姉、祖母と共に転々とした後、一家で福島市西地区に定住を決める。小学校から高校まで福島市で過ごし、2022年4月、Webデザインを学ぶため仙台市の専門学校に進学。2024年3月、専門学校を卒業後、同市の企業にWebデザイナーとして就職。半年後、高校時代に抱いた地域おこし協力隊の夢を叶えるため退職。2024年12月、福島市西地区の地域おこし協力隊※1に採用される。

第二の故郷を盛り上げるチカラになりたい

2024年12月、福島市の地域おこし協力隊に採用された神長倉さんが、さまざまな分野で活躍する地域おこし協力隊に興味を持ったのは、高校生の時だったそうです。「SNSを見るのが好きで、たくさん情報が流れてくる中にそれがあって、『やってみたい！』と思ったんです」。ピンと来た背景には、ボランティア活動が好きで、中学生の頃から地元の敬老会や文化祭などに関わり、お手伝いしてきたことがありました。いつも相手のことを考えて取り組んでいる皆さんの姿に、子どもながらに心を打たれたそうです。

「いつか自分もそういう大人になりたいと思うようになり、意識して募集情報を検索するようになりました。でも、居住条件や活動内容など、なかなか自分に当てはまるものがなくて…。時間だけが過ぎていきました」。

県産品や雑貨などを販売しているセレクトショップ「楽蔵(らくら)」

SNSで隊員募集を知るやるしかないと応募

高校卒業後、仙台市の専門学校でWebデザインを学んだ神長倉さんは、同市でWebデザイナーとして働き始めます。ある日、いつものようにSNSを見ていると、福島市地域おこし協力隊募集の記事を見つけました。「福島市の西地区で築100年の古民家カフェを中心に、周辺の遊休農地を活用した『ハコニワテラス※2』づくりを手伝ってくれる人を募集していました。これはもうやるしかない！と思って、会社の上司に相談した上で応募しました」。採用と分かった時は、本当にうれしかったそうです。

カフェを拠点に地域の課題解消のための事業を展開

今年3月にリニューアルオープンしたハコニワテラス内の古民家カフェ「AZUMA36（あづまさんろく）cafe（カフェ）」のリフォームにも関わったという神長倉さん。現在は、そのカフェを拠点に、①ハコニワテラスの管理業務とイベントの企画運営、②周辺地域の遊休農地の活用、③WebやSNSを活用した情報発信を3本柱に、地域課題解消のための事業を展開しています。

好評を博したゲーム大会夢は音楽フェス！

これまでの活動で特に印象に残っているのが、AZUMA36cafeが運営している子ども食堂との連携で企画・開催した「子ども食堂ゲーム大会」だそうです。「カフェ内の100インチモニターを使って、トーナメント形式で子どもたちにeスポーツを楽しんでもらいました。これが大盛況で、次は高齢者のためのeスポーツ大会はどうかと思っているところです。イベントに来てくださったお客様から『頼りになるねえ』と声をかけていただく喜びや、西地区の景色の美しさなどもあって、毎日が充実しています」。

大いに盛り上がった「第１回子ども食堂ゲーム大会」

人と人、コト、モノ、風景などをつなぎながら、遊休農地を花畑にしたり、ウサギやハムスターなどの小動物とふれあえる場所を作ったり、将来的には音楽フェスも実現させたいと熱意を燃やす神長倉さん。今夏、福島市を訪ねる機会がありましたら、ぜひ神長倉さんが活動する西地区を訪ねてみてはいかがでしょう。雄大な吾妻山、風にそよぐ緑の稲穂などの美しい風景、おいしい果物に癒やされると思いますよ。

※1 都市地域から過疎化が進む地域へ移住し、さまざまな地域協力活動を行いながらその地域への定住を図る取り組み。任期はおおむね1～3年。

※2「持続可能な地域社会との繋がりを持つ」をコンセプトに、古民家カフェやセレクトショップ、レンタルスペース、天然芝のドッグランなどを備えた複合施設。

福島駅前 軽トラ市

開催場所 福島駅前通り

開催日(予定) 8月31日(日)、9月28日(日)
10月26日(日)、11月30日(日)

開催時間 10：00～14：00

ホームページでは、生産者さんのオンラインショップやインタビューも掲載していますので、ぜひご覧ください！

福島市内の農家さんが愛情いっぱいに育てた新鮮な果物や野菜、加工品を軽トラックに載せて販売！

農家さんと直接お話しながら購入できるので、商品の特長やおすすめを聞くことができます！

農産物などの販売の他にも、楽しいイベントを開催予定！

問農業振興課　TEL 024-529-7663

ふるさと納税で福島市のまちづくりを応援！

元気ふくしま・ふるさと寄附金

福島市は「世界にエールを送るまち」を目指して、皆さまからいただいた寄付金をまちづくりに活用させていただきます。ぜひ皆さまの応援をお願いします。

旬の果物を少量から楽しめる「フルーツ定期便」や、弾力ある食感が楽しめるモモ「あかつき」が人気です。
四季折々の新鮮な果物の他にも、スイーツ、酒、工芸品、宿泊券など、多彩な返礼品をご用意しています！

楽天 | さとふる | ふるさとチョイス | ふるなび | その他のサイトなど詳しくはこちら

問政策調整課　TEL 024-525-3708

市民フォト・ふくしま夢つうしん

2025年7月1日発行　2025年7月号　No.61

編集発行 福島市広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
TEL 024-525-3710　FAX 024-536-9828
E-mail：kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢つうしん バックナンバーは市ホームページで！

福島市公式SNS

表紙紹介

果汁たっぷり！福島のサクランボ

６月上旬から始まるサクランボを皮切りに、福島市では次々と果物が食べごろを迎えます。自宅で食べるのも良いですが、今年は果物狩りに出かけて、もぎたての果物を味わってみませんか？

※次号は2025年10月発行予定です。